



日韓における 現代法学の理論的・実践的課題

第1部 刑法

司会：権 南希
(関西大学 教授)

13:30~14:00

言論の犯罪報道と裁判の公正性

金 成龍 *KIM, Sung-Ryong*
(慶北大学 教授)

14:00~14:30

刑法学における規範論の展開

山中 敬一
(関西大学 名誉教授)

14:30~14:45

コメンテーター 飯島 暢
(関西大学 教授)

第3部 民法

司会：後藤 元伸
(関西大学法学研究所長)

16:20~16:50

三星物産合併の教訓

一韓国の企業集団系列社間の合併に対する民法第124条
(自己契約・双方代理禁止)適用の必要性と可能性

李 相勳 *LEE, Sang Hoon*
(慶北大学 教授)

16:50~17:20

売買瑕疵担保の行方一展開と展望

田畑 嘉洋
(熊本県立大学 准教授)

17:20~17:50

法人格否認に関する考察

崔 玟龍 *CHOI, Min Yong*
(慶北大学 教授)

17:50~18:10

コメンテーター 李 忠相 *LEE, Choong Sang*
(慶北大学 教授)

共催：慶北大学 法学研究院

「多様な人材の育成という司法制度改革の理念を受けて2004年から始まった日本の法科大学院制度は新たな改革の時期を迎えている。

韓国においても変化する社会に対応できる法曹の養成を目指し、法科大学院を中心とする新しい法曹養成制度の導入から10年が経過した。

今般の研究会では、民法及び刑法学分野の理論的發展を照合しつつ、両国における法曹養成の現状を確認し改革推進の課題を検討する。

第2部 法曹育成と法学教育

14:45~15:45

韓国におけるロースクールの現在

金 昌祿 *KIM, Chang Rok*
(慶北大学 法学研究院長)

15:45~16:20

日本における法科大学院制度の展望

杉本 好央
(大阪市立大学法科大学院 教授)

通訳：黄 憲淳
(大阪大学 大学院博士課程)

2020年1月17日(金)
13:20~18:10

場所/ 関西大学 千里山キャンパス
尚文館 7階特別会議室

聴講無料・要申込

参加ご希望の方は、氏名・所属・連絡先、
件名に「1/17特別研究会申込」と明記の上、
FAX又はE-mailにてお申込ください。

関西大学 研究所事務グループ
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-0329
FAX:06-6339-7721
E-mail:hogakuken@ml.kandai.jp

■お問い合わせ先